

2008年(平成20年)度 事業計画書

施設名 : 小金井市子ども家庭支援センター  
小金井市ファミリー・サポート・センター

<p>事業の内容と展開</p>	<p>1 ひろば事業 ○親子あそび ○お楽しみの時間(ボランティアや母による企画) ○大きくなったかな ○談話室を使った遊びの提供 ○フリーリンク付ほっとタイム ○KGママ(母グループの自主企画、運営) ○大人用本貸し出し ○NPOおもちゃライブラリーとの連携・出張ひろば</p> <p>2 相談事業 ○電話相談 ○面接相談 ○ひろばでの相談 ○FAX相談 ○おしゃべりティータイム ○専門相談(発達相談、こころの相談、助産師相談) ○保育園巡回相談(臨床心理士一月1回・発達相談一虐待リスクのあるケースを必要に応じて)</p> <p>3 体験学習事業 ○年齢別連続講座(0歳・1歳2グループ各月1回) ○ミニ講座(助産師その他) ○母親グループ(ハイスケース一月1回×2グループ) ○父親の体験学習連続講座(年3回) ○シニア向け異世代交流講座(年1回) ○カルガモ教室(10ヶ月～1歳2ヶ月×月1回) ○エンジェル教室(5ヶ月児月2回)</p> <p>4 情報提供事業 ○センター通信 ○ホームページ ○掲示等による地域、子育て、リサイクル情報の掲示</p> <p>5 自主サークル支援 ○虐待防止を目的としたハイスケース家庭のための自主サークル支援(多胎児の会)</p> <p>6 ネットワーク、人材育成事業 ○保育園対象の研修(発達の気になる子への関わり・実習形式) ○ボランティア募集と育成(募集・活動のコーディネート・交流、研修、社協・ボランティアセンターとの連携) ○ファミリー・サポート・センターとの連携(ボランティア研修・フォローアップ講習) ○児童館との連携による事業(助産師出張講座・異世代交流) ○市内情報誌発行団体との協同編集会議 ○学芸大学との連携(カルガモ教室での大学院生実習)</p> <p>7 ファミリー・サポート・センター事業 ○協力会員の募集及び講習開催 ○依頼会員の募集及び説明会開催 ○会員相互の交流会 ○援助活動の促進及び協力会員、依頼会員へのサポート ○子ども家庭支援センターとの連携事業(上記) ○協力会員の資質向上(研修・子ども家庭支援センター事業での保育等) ○センター活動の周知及び協力会員募集のための地域説明会</p>	<p>事業目標・方針と展開</p> <p>1 地域の子どもとその家族一人ひとりが神に愛され、生かされているという事実を立て事業を行なう。</p> <p>2 地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子どもたちが心身共に健やかに育つまちや社会を作ることを目指す。 ○ひろば、講座、グループ等で大人同志が共感関係を築けるよう心掛けると同時に、違いを恐れずに表現し、その上でお互いを尊重する場面もつくっていく。異世代交流も積極的に持つ。 ○子どもを軸に子どもの立場に立った活動を大切に、地域や親に向けて発信していく。</p> <p>3 センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう日々努力する。 ○心身の状態や価値観など各々に違うものを持った色々な人が集い、出会う場である。一人の人には良くても他の人には、逆のこともある。スタッフが各々の親子の気持ちに気づき、チームとしてバランスをとっていけるよう、努力していく。 ○一人一人が特別な人ではなく、特別な存在であるという意識を持って接する。話しやすい人、協力的な人、目立つ人等とばかり安易に関わりを持つことなく、誰が何を必要としているのかをよく考えて配慮する。</p> <p>4 地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向かえるよう、専門性にに基づき対応します。 ○スタッフ各々が自分の課題を明らかにし、その課題の達成への道筋をもイメージして仕事にあたる。また今の自分のできることできないことをスタッフ間で共有する。</p> <p>5 地域の人々や他の専門機関と連携して子どもとその家族のニーズに合わせて必要な支援を行う。 ○個々のケースだけでなく、地域の子どもたちとその家族の今のニーズ、しかも表面的なニーズではなく、本当に必要としていることは何なのかについて各々が認識を持ち、それを共有し、統一していく。</p>
<p>ネットワーク事業の展開</p>	<p>1 保育園との連携強化 2 子ども家庭支援センター要保護児童対応職員との役割分担・連携強化 3 ファミリー・サポート・センターとの連携強化(目標の共有化) 4 NPOとの連携(研修、出張ひろば、ケースの連携) 5 児童館・社協・ボランティアセンター・学芸大学との連携事業 6 保健センターケースの共有と受け皿 7 各関係機関とのケースに応じた連携 8 市内子ども関連団体との連携及びサポート</p>	<p>職員構成</p> <p>子ども家庭支援センター ○責任者 ○子育て支援ワーカー</p> <p>ファミリーサポートセンター ○センター長 ○アドバイザー</p>
<p>環境整備</p>	<p>○アンケートを基にした環境改善 ○定期的な安全・衛生点検 ○大人用貸し出し図書の実・整備 ○室温、湿度管理 ○給湯室の改善 ○季節を感じる環境づくり</p>	<p>主な行事</p> <p>季節の行事(お楽しみの時間、ミニ講座等を使って)</p>
<p>採人用事</p>		<p>主な研修</p> <p>○ 東京都(福祉局、衛生局)主催研修各種 ○ 東京都子ども家庭支援センター自主研究会 ○ スーパーバイザーとのケース検討・研修</p>

